

「2013-2014福島キッズキャンプ IN 北海道冬編 ～飯舘村キッズのさっぽろ雪まつり」報告

福島キッズキャンプ IN 北海道

実行委員 出村 知佳子
(札幌北RC)

2014年1月31日(金)～2月2日(日)、「福島キッズキャンプ IN 北海道冬編～飯舘村キッズのさっぽろ雪まつり」が開催されました。今回のこの企画は、当地区と国際ロータリー第2530地区(福島)、国際ロータリー第3340地区ノンカイRC、第3350地区バンコククロントイRC、プラ・ピンクラオ・ドヨンブリRC(タイ)のマッチング・グラントとして開催され、安孫子建雄ガバナーをトップに、福島キッズキャンプ実行委員会(松原重俊委員長、柳孝一副委員長、清水哲副委員長)の奉仕プロジェクト委員会を中心としたメンバーが運営を担当しました。



今回は、飯舘村の福島市を中心にいまだ避難中の児童17名、村役場より1名、ロータクト1名、ロータリアン1名の合計3名の付添ボランティアが福島側から参加し、合計20名が冬の北海道で雪の中様々な初めての体験をしました。



「さっぽろ雪まつりつどーむ会場」にて、雪だるま作りに挑戦、個性豊かなかわいい雪だるま群が完成し、雪まつりを訪れた多くの方に「福島キッズキャンプ IN 北海道」の私達のロータリーでの取り組み

を紹介した看板と共に多くの皆様に見て頂けるようになりました。

「サッポロさとらんど」では、札幌の地元の子供達との雪中運動会を開催し、雪の中を思い切り走り、バナナボート等冬のアクティビティーを思いきり楽しみ、地元のさっぽろキッズ達との交流も深めました。また、その夜には、当地区実行委員会主催の交流会を開催し、安孫子建雄ガバナー、遠藤秀雄財団委員長、小田切房之第5Gガバナー補佐、玉造啓子第4Gガバナー補佐、松原実行委員長ら地区内の皆さんも多く集まって頂き盛大に行われました。



美味しい料理とゲーム、飯館村キッズ全員からの一人一言メッセージで全員からの感想も聞き、雪だらけになって思い切り遊んだ、楽しかった様子が良く伝わってきました。合わせて、飯館村教育課志賀係長の飯館村への熱い思い、感謝の念、安藤元二第2530地区新世代委員長の感謝の念に、参加者全員が心を打たれました。

今回で地区の事業としては4回目、更に今年度の事業はマッチング・グラントの財団プログラムにて、地区内皆様のご理解とタイの3クラブの協力のおかげで継続して実施することが出来ました。今後も支援の力を風化させず、多くの皆さんにメッセージを伝えながら、当地区の皆さんと共に何かお手伝いをしていければ・・・改めて感じた「福島キッズキャンプ IN 北海道冬編」となりました。

支援にご理解を頂き当地区と共に協賛、御協力頂いた、飯館村教育委員会、さっぽろ雪まつり実行委員会、札幌おやじの会、札幌市白石区PTA連合会、サッポロさとらんど、元祖札幌ラーメン横丁連合会、アイチフーズ㈱、福島県人会、センチュリーロイヤルホテル、㈱産経海外旅行の皆様には心より感謝を申し上げます。

そして、各プログラムでご協力を頂きました、札幌東RC、札幌幌南RC、札幌北RC、江別西RC、小樽RC、千歳RC、千歳セントラルRCの皆様、及び企画から運営までを引き受けていただきました、「福島キッズキャンプ実行委員会」の皆様本当にお疲れ様でした。「一日中外での活動は本当に寒かったです、子供達の笑顔とご協力頂いた皆様一人一人の笑顔と熱意で、とても温かい気持ちになりました、本当にありがとうございました！」

